

【2024 年度事業報告】

公益目的事業 1 「小さな親切」運動を通じて国民の心身の健全な発達と豊かな人間性を涵養

1. 「小さな親切」実行章贈呈事業

○ 2024 年度の概要

- ・ 当該年度は、小・中学生が、困っている大人を救援した、ひとり歩きをしている高齢者を保護したなど、学校外で行った親切行為に対する推薦が増加した。
- ・ その他、全国的に地域清掃や子どもの見守りなど、日常生活での思いやり活動への推薦も前年度に引き続き多く寄せられた。
- ・ 長年にわたり（公財）東京タクシーセンター（法人会員）から定期的に、乗務員の業務中の行為に対する推薦が寄せられている。その推薦活動継続の成果もあり、タクシー会社から個別に、乗務員が業務外で行った親切行為に対する推薦が寄せられるようになった。
- ・ 賞状デザインをリニューアル。個人用は A4 サイズ、団体用は A3 サイズとし、ともに横書きの賞状に統一した。

○ 2024 年度受章者数 25,862 名 /2025 年 3 月 25 日発表

	2024 年度		2023 年度 (参考)	
個人		3,030 名		3,621 名
団体	247 件	22,832 名	266 件	27,902 名
合計		25,862 名		31,523 名

※いずれも 3 月 25 日発表時

○ 実行章贈呈者数累計 6,155,235 名 /2025 年 3 月 25 日発表

○ 実行章バッジの販売

定 価：1 個 200 円（税込・送料別）

販 売 数：950 個 /2025 年 3 月末現在

（参考）2023 年度同時期実績 1,341 個

おもな購入者：8 県本部・12 支部、受章者本人など

- ・ バッジ購入者の多くは、個人受章者や推薦者。

2. 第 49 回「小さな親切」作文コンクール

〔実施概要〕

後 援：内閣府 文部科学省 NHK 毎日新聞

協 賛：カシオ計算機株式会社 株式会社サクラクレパス

テ ー マ：小さな親切

応 募 資 格：小学生・中学生（小・中学生と同じ年齢のものを含む）

応 募 方 法：400 字詰め原稿用紙 3 枚以内（本文のみで 1,200 字）

副賞：上位賞 / 電子辞書 or 腕時計 (G-Shock) or 電波時計・文房具
入選 / 電波時計・文房具
締め切り：9月20日(金) 必着
審査：第1次審査：9月24日(火)～10月2日(水) ※平日のみ
第2次審査：10月6日(日)
最終審査会：10月22日(火)
審査委員5名(内閣府大臣官房総務課制度室長ほか)
入賞・入選者数：130名 内訳/大臣賞2名・運動本部賞2名・特別優秀賞6名
優秀賞20名・入選100名
要項・入賞発表：運動本部WEBサイト / 5月1日(水)・11月15日(金)
表彰式：11月29日(金)
欠席者の賞状及び副賞は、各学校または地域組織より伝達。

- 応募総数 28,138 編 (前年度比 369 編増)
 - 内 訳：小学生 593 校 5,750 編 ・ 中学生 551 校 22,388 編
 - ・ 昨年より 369 編増加したものの、40,000 通以上あったコロナ前の水準に比べると、応募数は減少傾向。
 - ・ 教員の働き方改革の一環で、夏休みの課題を減らす傾向にあること、課題の提出自体も、必須ではなく選択制となっていること等が、応募数減少の要因と考えられる。
- 応募作品の傾向
 - ・ 特に目立った内容は、母がとっさの行動で困っている人を助けたり、近所の人に親切にしていたりするのを見て、親切とはなにかを考えたり、自らの行動へとつなげていくというものであった。また高齢の祖父母や、障がいのある親戚との生活の中で、自分のお手伝いや心づかいが親切であると気づき、自身の思いやりの心を育てていく様子を綴った作品も複数見られ、子どもたちにとって、日常生活で一緒に過ごすことの多い家族が与える影響の大きさが改めて感じられた。
 - ・ 地域の人との関わりの中で、親切について考える作品は例年多いものの、今年度は高齢化する地域社会の中で、住民が支え合って暮らす「自助」に目を向け、地域の良さを見つめ直す、という内容も目立った。
 - ・ その他、AI をテーマにしたものや、外国人観光客への道案内、コンビニやスーパーでセルフレジやスマホ決済のやり方がわからず戸惑っている人を手助けしたりするなど、現代ならではの親切のシチュエーションも生まれていることがわかった。
- 賞状デザインを一新
 - ・ 横書きのオリジナル賞状にリニューアルし、上位賞には A3 サイズ、入選には A4 サイズの賞状を授与した。
- 入賞・入選作品の発表
 - ・ 作品集には、上位 30 作品を収録。入選 100 名は氏名紹介のみとなることから、本部 WEB サイトに全入賞・入選作品を、2025 年 1 月～2 月にかけて順次アップロード。
- 作品集の販売 / 作文コンクール&はがきキャンペーン合併版
タイトル：『人が好きになるすてきな 54 話』

作 製 数 : 2,000 部
定 価 : 600 円
発 行 日 : 2025 年 2 月 17 日 (月)

3. 青少年すこやか育成事業

- ワークショップ開催 in 敦賀
 - と き : 10 月 5 日 (土)
 - と ころ : 福井県 敦賀市立図書館 参加者 : 児童 12 名
 - 講 師 : 有賀 忍 (板絵画家・絵本作家)
 - 準 講 師 : 五味職員
 - 地 域 組 織 : 福井県本部 (森本事務局長)、敦賀支部 (高畑代表、山本事務局長)
 - 協 力 : こども食堂 青空
- 青少年教育専用 WEB サイト「てらこあん」を通じた教育活動
 - ・ これまで実施してきた小学校道徳授業のレポートや教育プログラムを、教育関係者向けに継続して提供。

4. みんなつながる、トモダチ作戦

提 供 団 体 : 82 団体 (内訳 : 学校 77 企業・団体 3 組織 2)
配 布 物 : のぼり 85 枚・たすき 464 枚・ポスター 2 種 206 枚
※1 団体につき、のぼり 1 枚、たすき 5 枚、ポスター 2 枚を提供
※当該年度より組織以外の申込の場合、のぼり 1 枚 800 円、たすき 1 枚 350 円で販売。
(ポスターは希望があった場合のみ無料提供)

- 提供先について
 - ・ 地域組織を通じて、主に地域の小中学校、実行章受章校などに提供。
 - ・ WEB サイト等を通じた非会員団体からの購入申し込みは 7 件。

○活動事例紹介

WEB サイト (7 月) : 福井県 鯖江支部・鯖江市立待小学校合同あいさつ運動
情報誌『小さな親切』新春号 (No.537) : 大分県 杵築市立八坂小学校

5. ことばの魔法プロジェクト

第 40 回「小さな親切」はがきキャンペーン

〔実施概要〕

後 援 : 日本郵便株式会社 読売新聞社
協 賛 : 株式会社河出書房新社
テ ー マ : あのときはありがとう ～心から伝えたい～
対 象 : 高校生以上 (高校生と同じ年齢のものを含む)
応 募 方 法 : はがき及び専用フォームまたはメールで応募 (いずれも 600 字以内)
締 め 切 り : 9 月 4 日 (水) 必着

審査会：10月8日（火）

審査員4名（日本郵便(株)切手・葉書室担当部長ほか）

入賞・入選者数：24名 内訳／大賞1名・日本郵便賞1名・読売新聞社賞1名・
河出書房新社賞1名・入選20名

※記念表彰を設けたため、審査員特別賞は設けず

第40回記念表彰：1団体

副賞：上位賞／切手シート・図書カード・書籍・文房具

入選／図書カード・文房具

要項・入賞発表：読売新聞／4月16日（火） ・ 11月6日（水）

レターパーク5月号・公募ガイド2024年夏号・コボナビ・コンペナビ・
登竜門・情報誌『小さな親切』春号&秋号・本部WEBサイト

表彰式：11月29日（金）

○対象（応募年齢）の変更

作文コンクールとの差別化を図るため、これまで「子どもから大人まで」としていた対象を「高校生以上」に変更。

○第40回記念表彰の贈呈

第40回を記念して、長年取り組みを続ける1団体（千葉県 植草学園大学附属高等学校）を表彰した。

○応募総数 1,955編

- ・一般応募、会員応募がほぼ同数となり、応募数は全体で昨年度比100.9%。
- ・10代・20代からの応募が全体の28.5%に上り、若年層からの応募が大きく増加。応募対象を高校生以上と明確にしたことで、若い世代からの応募につながった。

○応募作品の傾向

- ・家族に感謝を伝える作品が最も多く、兄弟姉妹間、祖父母から孫へ、おじ・おばへ、など両親以外の親族への気持ちを綴る作品も増えた。
- ・介護にまつわるエピソードや、男性が退職後の第2の人生を語る作品など、これまでにない内容の作品が目立った。
- ・石川県の高校から初めて学校応募として作品が寄せられ、能登半島地震発生当時の様子やその時の出来事が綴られていた。また、阪神・淡路大震災や東日本大震災で被災されて方々から、例年より多くの作品が届いた。

○作品集の販売／作文コンクール&はがきキャンペーン合併版

※2ページの作文コンクール報告参照

○新デザインの賞状を授与

- ・作文コンクール同様、賞状を横書きのオリジナルに変更し、上位賞はA3サイズ、入選はA4サイズを授与。

6. 令和6年度「小さな親切」運動全国表彰式

〔実施要項〕

後援：内閣府 文部科学省 NHK

と き：11月29日(金) 12:30~14:30
と ころ：ホテルグランドアーク半蔵門 富士東の間
司 会：石井麻由子(NHK財団 専門委員)
プログラム：【表彰】内閣官房長官賞・「小さな親切」運動大賞・「小さな親切」運動賞・
第40回はがきキャンペーン・第49回作文コンクール
【作品朗読】はがきキャンペーン大賞作品、作文コンクール大臣賞作品

〔内閣官房長官賞、運動賞受賞者〕

「小さな親切」運動推進功労者 内閣官房長官賞 /5名

- 1) 安孫子 博 宮城県本部副代表
- 2) 和嶋 仁 山形県 酒田「小さな親切」の会前事務局長
- 3) 河端 教志 福井県越前支部監事
- 4) 木野 昌也 大阪府 法人正会員 社会医療法人仙養会理事長
- 5) 木村 謙一 福岡県 行橋支部代表

「小さな親切」運動大賞 /1団体

「小さな親切」運動神奈川県本部

「小さな親切」運動賞 /2団体、個人2名

- 1) 広島県 「小さな親切」運動福山支部
- 2) 香川県 「小さな親切」運動まんのう町支部
- 3) 秋田県 佐藤治雄
- 4) 東京都 板倉宏昌

○ 表彰のほか、複数の受賞者、関係者インタビューを実施

- ・ 平日開催だったが、作文コンクールでは入賞・入選あわせて72名と、全入賞・入選者の半数以上が出席。
- ・ 作文コンクール、はがきキャンペーン同様、運動大賞、運動賞への賞状も、新規賞状を使用。
- ・ 入賞者だけでなく、印象的な内容の入選作筆者、また作品中に登場したご家族へのインタビューを行うことで、思いやりの行動の大切さを参加者に伝えた。

7. 『小さな親切』誌の刊行 <(一財)日本宝くじ協会助成事業>

季 刊 発 行：年4回(春号5月・夏号8月・秋号11月・新春号1月)

発 行 部 数：1回あたり約30,000部 年間延べ120,000部

○ 様々な切り口で「小さな親切」を発信

春号(No.534)では、脳神経内科医である栗田正副代表による、「親切が心の回復力を高める」と題した講演内容の一部を紹介。また、当該年度より運動本部役員が交代で巻頭エッセイを執筆し、様々な年代、職種から見た「小さな親切」の大切さを発信した。

○ 他団体の活動紹介

温かな社会づくりの大切さを伝えるため、他団体の社会貢献活動を積極的に紹介した。
夏 号/No.535 愛知県 NPO 法人全国子ども福祉センター

秋 号/No.536 愛媛県 内子町森林組合と林業グループ
東京都 NPO 法人プラネットカナル
NPO 法人リビング・オール・トゥギャザー
新春号/No.537 熊本県 ウィズマフの会

8. 地域の輪・和・環プロジェクト <協力：(株)A2Z>

○ 車椅子の斡旋

- ・ 地域組織に自走式車いすを斡旋。購入組織が地域の社会福祉施設等に寄贈。

〔実施概要〕

実施組織：14 県本部 ・ 15 支部

斡旋数：81 台（うち リクライニング 2 台、シャワーキャリー 2 台）

種類：①BAL-R1（アルミ製） シートカラー：ブルー

自走式/介助ブレーキ（ドラム式）付/背折れタイプ

キャスター6×22 インチ/座幅 40cm/前座高 43.5cm/全長 94.5cm

全幅 60cm/全高 86.5cm/重量 12.3 kg

②プレート サイズ縦 4 cm×横 11 cm/白地に黒文字の亚克力製

文字は 3 段以内で 1 段は 13 文字程度

定 価：①車椅子 30,200 円 /メーカー希望小売価格 89,000 円

②プレート 2,000 円 /希望組織のみ

※1 台につき送料 3,300 円

展開方法：4 月に購入希望を確認し、6 月に A2Z（販売代理店）に発注。

10 月に順次発送。

9. 日本列島クリーン大作戦 <協力：日本たばこ産業(株)>

〔実施概要〕

後 援：内閣府 文部科学省 総務省 国土交通省 環境省 警察庁

協 賛：日本たばこ産業(株) コカ・コーラ協会（公社）食品容器環境美化協会

スチール缶リサイクル協会（公財）日本環境協会 日本石鹼洗剤工業会

スローガン：美しい日本、美しい心

期 間：2024 年 4 月 1 日（月）～2025 年 2 月 28 日（金）

○ 地域毎に取り組みやすい方法で実施

- ・ 従来通りの大規模（参加者 1,000 名程度）活動が複数の地域組織で行われ、地域の道路や河川、公園のほか、観光地での清掃活動も実施された。
- ・ 夏季の猛暑を受け、開催時期を秋に変更した地域が増加。また、今後の開催時期を検討したいとする地域もあった。
- ・ 一部組織では、会員企業・学校に自主的な活動を呼びかけ、JT 提供のごみ袋を配布するなど、それぞれの実情に沿った活動への支援を行った。
- ・ いくつかの地域では、参加を呼びかける際に事業参加証明書（ボランティア証明書）を発行できると案内したところ、学生の参加が増加。学生から「来年も参加したい」との声を寄せられたケースもあり、主催者、参加者ともに良い影響を与えている。

- ・ 実施組織：43 組織
参加者：延べ 75,000 名（学校、団体単位の参加者含む）

○ 活動用品を配布

- ・ ごみ袋 80,000 部（可燃・不燃用共通 30L：24,670 部・8L：55,330 部）
- ・ ポスター 900 部
- ・ のぼり 113 枚 ※東京 2020 記念事業で製作したのぼりをリメイクして提供。

10. 日本列島コスモス作戦 <協力：タキイ種苗(株)>

○ 種子の斡旋

コスモス種子（dl・L）及び種子袋、ミニヒマワリ種子袋、ヒマワリ種子（500g）及び種子袋を斡旋。

〔実施概要〕

発注数：	●コスモス種子袋	25,668 袋
	種子（dl・L）	86dl・14L
	●ミニヒマワリ種子袋	27,258 袋
	●ヒマワリ種子袋	4,556 袋
	種子（500g）	1 袋
定価：	①コスモス種子袋	1 袋 18 円
	②ミニヒマワリ種子袋	1 袋 20 円
	③ヒマワリ種子袋	1 袋 18 円
	④コスモス種子	1dl 660 円・1L 6,600 円
	⑤ヒマワリ種子	500g 3,160 円

※いずれの種子袋も名入れを行った場合は上記価格に+1 円/袋

発送：4 月中旬

○ 斡旋価格の改定

タキイ種苗の種子価格値上げに伴い、一部種子の斡旋価格を値上げ。

○ 新規感謝状の使用

地域組織が参加者に贈呈している感謝状のデザイン・文言・サイズを A4 サイズ・横書きにリニューアルした。

11. 使用済み切手等寄贈

○ 使用済み切手の受付対応を変更

個人、企業、学校等から寄せられる切手等を中央本部で取りまとめ、寄贈先（海外支援団体）へ送付していたが、当該年度より、直接寄贈先へ送付してもらう形に変更。これに伴い中央本部 WEB サイトでの協力者氏名掲載を終了した。

○ 寄贈先を WEB サイトで紹介

使用済み切手等の収集活動を行う海外支援団体を WEB サイトで紹介するとともに、

直接送付してもらうよう広く周知した。

〈寄贈先／海外支援団体一覧〉

- 使用済み切手 (公社) 日本キリスト教海外医療協力会
(公財) 緑の地球防衛基金
認定 NPO 法人日本国際ボランティアセンター
- 使用済みプリペイドカード (公財) ケア・インターナショナル ジャパン

12. その他

○ 各地域の運動支援

1) 地方活動助成費の交付

総 額 : 6,712,000 円 / 6 月交付・2023 年度会費収入の 12%

2) 全国地方本部事務局長会議

と き : 2025 年 2 月 14 日 (金) 13:00 ~ 15:30

3) 地域組織の各種会合への講師派遣、会議、会合等への出席

講師派遣 2 回 会合等への出席 12 回 / 2025 年 2 月末現在

○ 各種パンフレット、ポスター等の作製

1) 基本資料

基本パンフレット・三つ折りしおり・実行章パンフレット・八か条ポスター
「小さな親切」運動イメージポスター

2) 法人会員楯

収 益 事 業

1. はがきキャンペーン作品の書籍化

当該年度は書籍化なし。

2. 「小さな親切」運動グッズの販売

当該年度より、環境に配慮した素材を使ったボールペン 2 種（オーシャンプラスチックボールペン、紙ペン）及びイヌのイラストが入った小さなしんせつレター（一筆箋）を新たに販売開始。

なお、クリアファイルの地域組織への無料提供は、当該年度で終了。

〔作 製 物 ・ 価 格〕

オーシャンプラスチックボールペン	180 円	(地域組織販売価格 100 円)
紙ペン	150 円	(" 100 円)
SDG s ボールペンセット (上記ボールペン 2 種のセット。一般販売のみ)	300 円	—
小さなしんせつレター (ネコ、クマ、イヌ)	450 円	(地域組織販売価格 350 円)
花束レター	500 円	(" 400 円)

エコバッグ	600円	(〃	500円)
ボールペン (クリップ式)	100円	(〃	60円)
クリアファイル (無料提供分除く)	50円		100枚以上購入で10%OFF	

※会員には割引を行い、会員特典を設定。

※クリアファイルは、地域組織には県本部3箱、支部1箱の上限を設けて無料提供。
(送料1箱900円は組織負担)。上限を超えた場合は上記価格で販売。

〔販売数および販売金額〕

オーシャンプラスチックボールペン	1,477本	154,420円
紙ペン	820本	83,050円
SDGs ボールペンセット	29セット	8,700円
小さなしんせつレター (ネコ、クマ、イヌ)	334冊	118,000円
花束レター	22冊	8,950円
エコバッグ	216枚	108,500円
ボールペン (クリップ式)	166本	11,400円
クリアファイル (無料提供分除く)	2,050枚	92,500円

その他事業

1. 総会・理事会

1) 第14回社員総会

6月13日(木) 14:00~15:00 / ベルサール飯田橋駅前

2) 臨時社員総会

7月22日(月) 14:00~15:00 / (公社)「小さな親切」運動本部 事務局

3) 理事会 4回開催

第56回 (2024年5月21日)・第57回 (6月13日)・第58回 (9月24日)・

第59回 (2025年3月7日)

2. 「小さな親切」運動本部特任推進委員の委嘱

委嘱者なし。

3. その他

京都府本部、山陰本部、山口県本部、香川県本部が自主事業として「エコキャップ収集運動」に取り組む。また「心の国際交流」も地域組織の自主事業として展開。

広報活動

1. WEB サイト等による情報発信

公式WEBサイト、Facebook、Instagram、YouTube等を通じて、リアルタイムの情報を全国に発信。また、地域組織専用ページで実践活動を定期的に取りあげた。

2. 地域組織紹介動画制作

○地域組織紹介動画

- ・ 地域組織の要望に応じ、当該県本部、支部の活動状況を紹介する動画を制作。2024年度は、各組織が表彰式等で上映する動画のほか、栃木県本部の周年記念動画も作成。

寄 附

金 額：377,110 円 寄附者：12 件（匿名含む）

見舞金

2024 年度はなし

【会員数・会員種別内訳】

139,075 名

内訳 / 個人正会員 86 名、個人寄附会員 17 名、法人正会員 29 法人、法人寄附会員 16 法人、個人会員 586 名、地方賛助会員 6,077 名、団体会員 86,490 名、学校会員 45,774 名

<参考 2024 年 3 月末現在>

140,379 名

内訳 / 個人正会員 89 名、個人寄附会員 18 名、法人正会員 30 法人、法人寄附会員 19 法人、個人会員 601 名、地方賛助会員 6,125 名、団体会員 87,669 名、学校会員 45,828 名